

## 令和4年度事業報告

社会福祉法人松山会

### 1. 概要

大分県の高齢化は大分市内に集中しており市内の人口は増加しております。それに合わせて市内の高齢者介護施設も増加しております。慢性的な介護職員の不足も続いているおり各サービス事業所のニーズの確認、働きやすい職場環境作りやシステムのIT化、ノーリフト化を進めていかなければならぬといった状況になっております。

また、長引くコロナ渦でご利用者、職員の生活習慣が大きく変わりました。

令和4年度は活動等徐々に再開してきて参りました。研修につきましてはWeb上にて再開いたしました。また、行事、営業活動等は控えておりましたが、安全な範囲で可能な限りに再開をすることとしております。今年度は特に健全経営に向けた職員教育、接遇に力を入れて参りました。

### 2. 事業活動

#### (1) 各種会議等

##### ① 監査会

令和4年5月17日（火）

- ・ 令和3年度の事業報告等、計算関係書類及び財産目録について

##### ② 理事会

令和4年5月24日（火）

- ・ 令和3年度事業報告（案）、令和3年度決算（案）、社会福祉法人充実残額算定結果、監事監査報告、定款の変更（案）、規則規定一部改正（案）・・・等について審議

令和4年11月26日（土）

- ・ 令和4年度松山会補正予算（案）、松山会基礎財産の処分（案）、規則・規程の一部改正（案）、最低賃金の改正（案）・・・等について審議

令和5年3月16日（木）

- ・ 令和4年度補正予算（案）、令和5年度事業計画（案）、令和5年度収支予算（案）、規則規定の制定及び一部変更（案）、業務委託契約（案）、嘱託職員の採用・雇用継続（案）、紅葉苑施設長選任（案）・・・等について審議

### ③ 評議委員会

令和4年6月15日（水）

- ・ 令和3年度事業報告（案）、令和3年度決算（案）、社会福祉法人充実残額算定結果、監事監査報告、定款の変更（案）、規則規定一部改正（案）・・・等について審議

令和4年12月5日（月）

- ・ 令和4年度松山会補正予算（案）、松山会基礎財産の処分（案）、規則・規程の一部改正（案）、最低賃金の改正（案）・・・等について審議

令和5年3月28日（火）

- ・ 令和4年度補正予算（案）、令和5年度事業計画（案）、令和5年度収支予算（案）、規則規定の制定及び一部変更（案）、業務委託契約（案）、嘱託職員の採用・雇用継続（案）、紅葉苑施設長選任（案）・・・等について審議

### （2）研修会等（毎月第3木曜18時～）

令和4年4月21日 法人の基本指針、倫理及び法令遵守に関する研修

令和4年5月19日 サービスのに関する情報の共有についての研修

令和4年6月16日 介護職における接遇に関する研修

令和4年7月21日 高齢者の人権及び虐待防止のに関する研修

令和4年8月18日 非常災害時の対応、減災に関する研修

令和4年9月15日 救急法講習

令和4年10月20日 介護予防に関する研修

令和4年11月17日 感染症及び食中毒の発生予防に関する研修

令和4年12月15日 事故発生予防・事故等の緊急時対応に関する研修

令和5年1月19日 認知症予防のに関する研修

令和5年2月16日 ノーリフティングケア取り組みについて

令和5年3月16日 身体拘束・プライバシー保護に関する研修

### （3）地域貢献活動

滝尾校区民生・児童委員会定例会議の参加

## 令和4年度 事業報告

軽費老人ホーム 白寿苑

令和4年度も全国的に新型コロナウィルス感染症の流行が続き、一日に報告される全国の感染者数が連日過去最多を更新し続けたことに加え、更なる変異ウィルスも次々と出現し、様々なウィルスが併存するという特異な状況となりました。

感染リスクに配慮した各種行事を企画することもかれこれ3年以上続いており、当初聞かれていた利用者様からの不平不満も段々と少なくなっています。そのことがかえって新型コロナウィルスが白寿苑に対して及ぼした影響を如実に物語っているようにも感じます。

しかしながらそのような状況下にあっても、趣味・教養・娯楽等の計画を再検討し、可能な限り各種援助の実施に努め、利用者様に安心安全な生活を送って頂けるよう、職員一丸となって処遇に取り組みました。

### ① 令和4年度運営方針の基本について

自立施設であることを念頭に置き、利用者様各人の有する能力が損なわれないよう職員の過剰な援助を控え、支援が必要な場合は家族様にも相談し、個別性を尊重しながら援助に努めました。またコロナ禍であっても利用者様各人が趣味・嗜好を楽しみながら安心安全な生活が送れるよう、新型コロナウィルス感染症に関する情報提供をこまめに行い、共有スペースに感染対策を施す等の取り組みを行いました。

### ② 利用者の処遇、プライバシーへの配慮について

毎日検温を行い異常があれば早急に医務に報告するなど連携をより一層密に行うと共に、利用者様各人が過剰なストレスを抱えていないか等日々の様子を細やかに観察し情報共有を行い、利用者様の体調不良の早期発見やストレスの緩和に努めました。

毎日朝夕の体操や週1回のトレーニングサークルを通じて、利用者様の心身の健康が維持できるよう努め、各種行事については食事提供を伴う行事は感染対策として引き続き食事を2部制に致しました。

避難消火訓練については、利用者様の高齢化に伴いより実態に即した訓練とするため指示連絡系統を細分化し、有事に備えどの職員でも指示役が出来るよう訓練しました。

また令和4年は白寿苑創立40周年の年であったことから、記念行事として日本製鉄大分吹奏楽団様にご協力頂き、事前に録画した演奏をスクリーンで上映するという録画演奏会を企画し、自由な外出が出来ない利用者様にほんの一時でも非日常を楽しんで頂くことができたと考えております。

利用者様のプライバシーについては、コロナ禍特有の閉塞感からストレスを抱える方が増加したことによって少々のトラブルが見受けられましたが、各人の個別性を尊重しつつ、利用者様同士の協調性と信頼関係構築の配慮に努めました。

### ③ 職員待遇の充実、士気高揚策、職員研修について

コロナ禍で引き続き苑外研修の中止が続いているが、実際に苑外での研修が実施された際は可能な限り参加し、WEB研修にも積極的に参加しております。

また苑内職員研修を各専門職が持ち回りで企画運営することで、職員のスキルアップ及び意識改革を図りました。

### ④ 地域貢献（施設関係）等について

コロナ禍の影響もあり引き続き従来どおりの地域交流を行うことは出来ませんでしたが、七夕やクリスマスの際には滝尾保育園の園児より可愛らしいプレゼントを頂き、白寿苑からは互助会長よりお礼の折り紙をお返しするなど、ささやかではありますが園児たちとの交流ができました。

また創立40周年記念施策としてこの度白寿苑の紹介パンフレットを一新し、滝尾地区のサロンに参加するなどして地域に対する情報発信のツールとして活用しました。

### ⑤ 今後の課題について

今後高齢者施設はますます多様化していく、利用者様のニーズとレベルに合わせた棲み分けが成されることを踏まえ、白寿苑としては「60歳以上の自立の方」という入所基準をこれからも遵守し、50名の利用者様の「自立」という状況を維持するために、職員一丸となって多方面からの積極的支援を継続して参ります。

また自立施設であることを広く内外に発信し、入所待機者を増していきたいと考えております。

## 令和4年度 事業報告

### 特別養護老人ホーム緑風苑

2020年1月に日本で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されてから3年以上が経過しました。そういった中で、令和4年度はもっとも感染症への対応に追われた1年だったといえます。もちろん特別養護老人ホーム緑風苑の果たすべき役割である、高齢者に医療や介護が必要な状態となっても、できる限り住み慣れた地域で人生の最期を迎えることが出来るようにしていくという命題に変わりはありません。これから増加していくのは、要介護度が重く、医療ニーズの必要度が高い方です。地域包括ケアの取り組みが行われていますが、そういった方々すべてを在宅で対応することは困難であると考えます。すべての人たちが安心して生活することができるようになるには、特養が受け皿であり続ける必要があります。

当事業所でもこのような状況をしっかりと認識し、新型コロナウイルス感染症への水際対策に始まり、発生した際の対応とマニュアルの整備、協力医療機関との連携強化に努めました。また集団行事の実施は困難なため、個別支援を手厚くする体制へ移行しました。面会の制限をしているなかでも家族との繋がりを維持するため、タブレット端末を用いたリモート面会をすすめてきました。

今後も多職種がチームとして関わっている特徴を活かしながら、医療との連携をさらに強化していくことで、感染症の予防、質の高いサービスの提供体制を構築していく必要があります。また業務や情報管理の効率化の観点からWi-Fi設備を活かしたICTの活用などにも取り組み、利用者や家族が安心して生活できる施設、職員にとつても働きやすい施設を目指します。

## 令和 4 年度 事業報告

緑風苑デイサービスセンターE型

令和 4 年度はウィズコロナの状況でより多くのご利用者に利用していただけ  
るよう努めてまいりました。デイサービス E 型のご利用者もコロナ陽性者数の  
増加に伴い利用を控える方々もおられました。抗原検査を実施しつつデイサー  
ビスでの感染拡大防止に取り組みましたが、月の利用延べ人数が半数近く減っ  
た月もありました。

令和 4 年度のご利用者の延べ人数は 2,896 名で、最終的な登録ご利用者数は  
26 名でした。平均介護度は 4.2 で特に要介護 5 のご利用者が 14 名と最も多く登  
録ご利用者の半数を占めている状況です。介助量増加に伴い職員の身体的負担  
も増していることから、ノーリフティングケアに取り組み今後一層抱え上げな  
いケアの考え方や方法を拡大してまいります。

身体的精神的重度なご利用者の利用希望が多く聞かれる中、職員の身体的負  
担にも目を向け腰痛予防に努め、これまで通り当法人のコンセプトに則り、こ  
れからも中重度の認知症高齢者にご利用頂ける事業所の運営に努めて参ります。

## 令和4年度 事業報告

### 緑風苑デイサービスセンターB型

急速に今後も高齢化率は上昇するものとみられており、大分市においても高齢者が、可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるよう医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される『地域包括ケアシステム』の構築、推進を進めています。

そのような中、当事業所では、要介護状態になっても住み慣れた地域・在宅での生活を支援するため、通所介護として期待されている入浴・排泄・食事などの介護の提供にも力をいれ、地域包括ケアシステムの一端を担うべく、介護支援を行って参りました。

令和4年度は、コロナ禍の状態が続き、近隣施設でも感染者の発生による利用停止などが発生しました。入院や症状悪化等による入所、新型コロナウイルスに対する不安からの利用控えなどもありましたが、ホームページ利用等による新規利用者の開拓、各施設との連携などあり利用人数・収入は昨年度実績より増加しました。目標数値に対しては、収入実績55,855千円となり、目標値58,234千円に対し、▲2,379千円・目標対比95.9%、定員44名／日（13,640名／年）に対し、平均23.7名／日（7,349名／年）で稼働率は年間53.9%となりました。

具体的な活動としては、施設空き情報やパンフレットなどによる新規利用者の確保のための営業活動をホームページ等活用して行いました。ご利用者の利用回数増加・利用日振り替え利用による増員の声掛け、利用控えをしているご利用者への再開利用の声掛けなどを積極的に行いました。また、特殊浴槽があるため、入浴が必要な中重度のご利用者にも安心してご利用いただきました。ご利用者・ご家族からの多様な要望（利用時間・利用回数など）にも積極的に対応して参りました。

今後は、ウィズコロナの中、これからも安心・安全に、ご利用の方々がいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、サービスの提供に努めます。

## 令和4年度 事業報告

緑風苑ホームヘルプサービス

長引く感染症の脅威にただただ翻弄される日々の年度となりました。利用者様の家族様やスタッフの家族など感染症の陽性者の知らせが入る都度、いかにして利用者様の生活を成り立たせていくかをチームで考え、スタッフの協力の下乗り越えてきました。

コロナウイルスも5月8日から5類に移行しましたが、引き続き感染症予防に努めながら、利用者様と介護従事者の生活を支えていきます。

## 令和 4 年度事業報告

緑風苑介護保険サービスセンター

現在、介護給付（要介護者）、予防給付（要支援者）合わせて約 270 名のご利用者を担当させていただいております。

令和 4 年度もコロナ禍ではありましたが質の高いケアマネジメントを推進する為 ZOOM 等を活用し他法人が運営する居宅介護支援事業所と共同で行う事例検討会及び様々な研修に参加して参りました。

新年度は主任介護支援専門員を 2 名配置する体制となっております。今後も積極的に研修に参加し、各職員がケアマネジメントの質の向上に努めることで、事業所全体のレベルアップを図れるよう取り組んでまいります。

## 令和4年度 事業報告

滝尾地域包括支援センター

令和4年度の滝尾地域包括支援センター業務全般において、前年度に引き続き、コロナ感染予防の対応として、個人宅への訪問や病院、施設への訪問活動においては制限される事も多い状況がありました。感染者数の減少から徐々に緩和された時期もありましたが、コロナ感染者の状況(ステージ)に留意しつつ、柔軟に対応しました。

滝尾地域包括支援センター主催の会議や研修会等の実施に関しては、感染予防対策を十分に講じつつ、各組織代表に事前に主旨説明を行うとともに、必要があれば複数回訪問も行いました。実際に先方に足を運び説明する事で、より理解と協力を得る事ができ、スムーズな会議や研修会の開催に繋げる事が出来ました。

滝尾地域の連携を強化していくうえで、顔の見える関係づくりを常に意識し、自治・民生委員が参加する地域ネットワーク会議や、医師の参加する医療・介護連携検討会、滝尾圏域介護支援専門員研修会等に成果を挙げられたと考えています。

総合的には、令和4年度の大分市包括的支援事業方針に基づき、滝尾地域の高齢者総合相談窓口の最前線として、主任ケアマネージャー・社会福祉士・保健師三職種の専門性を活かしながら、地域や関係機関とのネットワークを充実させ、「地域包括ケアシステム」の構築・推進に向けて中心的な役割を果たすよう努めたいと考えています。

## 令和4年度 事業報告書

### 紅葉苑デイサービスセンター糸

#### 1 運営基本方針について

紅葉苑デイサービスセンター糸では、令和4年度各事業所への営業や自宅療養者の再開もあり年間利用者数、2872人一日平均9.3名にて年間の目標を達成しました。また新型コロナウイルスが猛威をふるった一年でしたが、職員が一致団結しご利用者をはじめ職員自身の体調管理や感染防止対策を徹底することで新型コロナウイルス感染者が発生することはなく安定した運営を行う事が出来ました。

経営面に関しては、他事業所との競合は勢いを増しており、数ある事業所から紅葉苑糸を選んで頂けるよう、ご家族や担当ケアマネジャーと日々連携や情報共有を図り、利用者満足度の向上に努めながら信頼関係の構築に努めてまいりました。

ケアの方針としては自立支援を念頭に置き、利用者の方が何を望み、どのような援助が必要なのかを把握し、プラン会議を重ね個別性を重視したケアを職員全員で図ってまいりました。

#### 2 利用者待遇・プライバシーへの配慮

利用者本人が望むことや出来ることを活かす援助を心がけ、利用の定着と認知症状の維持や緩和に繋ぐよう努めてまいりました。また、個人のプライバシーへも最善なる配慮を心掛け、利用者や介護者から喜ばれるデイサービスの実現を、職員一丸となり日々実践してきました。

#### 3 職員待遇の充実、志気高揚策、職員研修

個々に異なる認知症状に対し、より専門的な援助を実施し成果を得ることで、職員それぞれの自信と今後への意欲向上に努めてまいりました。また、職員に必要な研修にはその都度参加してスキルアップを図っています。

#### 4 地域貢献(施設開放)

常時見学や面会・交流が可能なデイサービスを実施してまいりましたが、大人数の来苑者により利用者が混乱する傾向にあり、不特定多数との交流は今後も検討が必要となっています。

#### 5 事業の特徴、セールスポイント

- 援助への信頼関係は維持されており、今後も継続して行きます。
- 季節の移り変わりを捉え、外出や園芸などの自然環境に触れて行きます。
- 食・体調・思い等、個々に応じた関わりを大切にしています。

#### < 今後の取り組みとして >

自立支援を念頭に、自分で出来る事を可能な限り保てる援助の実践を目指し、利用者や介護者と共に考え、生活に結びつく介護のあり方を追い求めて行きたいと思います。

## 令和4年度 事業報告

紅葉苑デイサービスセンターこころ

### 1. 運営方針について

令和4年度は、ご利用者登録数が介護給付75名、予防給付96名、生きがい対応デイサービスは登録86名となっています。営業日数310日、延べ人数15,045名、平均利用者数48.5名でした。新規利用者39名。また当法人の介護保険の窓口としての役割も担い、グループ施設移行者（体験者紹介含む）は6名でその使命を果たせるよう努めています。

事業売上目標数値に関しましては、事業所内でのコロナウイルス発生により営業自粛もありましたが、感染症対策の徹底、感染予防の啓発にて安全にご利用ができるように努めていき、各関連事業所の方々の協力を得て、利用者数も徐々に増え目標を達成することができました。

5年度もコロナウイルス対策の継続とコロナ禍で運動機会が少ない方が安心されてご利用出来る環境作りや心身の健康状態が保たれるように努めてまいります。

### 2. 利用者の処遇・プライバシーへの配慮

日々の利用者からの声（コロナウイルス感染での不安や事業所での感染対策）を聞き状況の改善や内容の見直しを行い、取り組みまでのスピードも意識して対応できるよう努力しました。

### 3. 職員処遇の充実・士気高揚策・職員研修

通所会議を通して問題・課題を出し対応・対策を職員同士で共有し処遇・支援方法等サービスの質の統一化を図りました。

### 4. 地域貢献

コロナ禍で地域の交流の場は今年も出来ませんでしたが、地域と繋がり心身の健康や介護保険の窓口の役割になれるよう考え方企画してまいりました。

#### (今後の課題)

利用者の支援と要介護の割合が均等になり始め、支援を要する方々が増え細やかなケアが必要な状況も見られます。多職種との連携はもちろん個別機能訓練を向上させ、個々の身体機能の維持・向上を目指し自立支援を行っていきます。

## 令和4年度事業報告

紅葉苑ホームヘルプサービス

### 1. 運営方針について

紅葉苑ホームヘルプサービスは有料老人ホーム紅葉苑の中にあり、支援対象者は主に入居者の方々です。令和4年度は例年になく入居者の長期入院、お亡くなりになる方が多い年度でした。そのため長期のサービス利用の停止や終了も多くありましたが、長期入院からの退院に伴う状態変化や、新規の利用には柔軟に対応することができました。

収益目標に関しましては、加えて、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値を超えることは出来ませんでした。5年度は100%の達成率を目指します。また入居者の方の身体状況に見合う支援内容追求と、新型コロナウイルス感染症対策の継続を基盤として、安心安全な生活をサポートしてまいります。

### 2. 利用者の待遇・プライバシーへの配慮

守秘義務を常に心がけ個人情報漏洩に対する細心の配慮をはらうように意識して支援を行いました。また利用者の不安や不満を傾聴し、利用者の思いを受け止めるように気を付けました。

### 3. 職員待遇の充実・士気高揚策・職員研修

月1回ヘルパー会議の開催を行い、問題点を出し合い解決策を検討し、支援内容の再確認を行い、統一した支援ができるように努めきました。

### 4. 地域貢献

法人が実施する地域・社会貢献活動に対し努める体制作りに尽力いたしました。

### 5. 事業の特徴・セールスポイント

苑内に事業所があることにより、緊急時でも迅速で、柔軟な対応ができます。また毎日接しているため、体調の変化に早く気が付くことができ安心安全な生活をサポートすることができます。

〈今後の取り組みとして〉

入居者の身体・生活機能が低下しないように、自立支援、介護予防の考え方に基づき適切な支援を提供いたします。またご利用者及びご家族の要望を可能な限り叶えられるように関連機関との連携を密にし、取り組んでいきたいと考えます。

以上

# 令和4年度 事業報告書

有料老人ホーム 紅葉苑

## 1. 運営方針について

令和4年度の運営方針は「入居者に満足していただける老後生活の支援を行い、家族には信頼を頂き安心を差し上げること。」でした。入居者の中には自立自助だけでは生活困難な方や認知症状が顕著な方々もでてきましたが、職員等による見守りを徹底したお陰で大きな事故もなく、ご入居者・ご家族に信頼と安心を与えることができました。

## 2. 入居者待遇・プライバシーについて

昨年度は多くのご入居者が入れ替わりました。しかし入居者個々に対する人格尊重と個人情報保護は職員の徹底した管理のお陰で充分に守られました。

## 3. 職員待遇の充実、士気高揚策・職員研修について

新型コロナウイルスが猛威をふるった年であり、全ての研修はオンライン上で行い、その内容を内部還流することで、職員間の士気向上と研修充実を図ることができました。

## 4. 地域貢献（施設開放）等について

紅葉苑は長谷町の一時避難施設として協定を結んでおり、同地区合同での訓練なども行っておりました。しかし令年4年度は多くの行事が中止されたため、地域の方々との交流は例年と比べると少し希薄なものとなっております。

## 5. 施設（事業）の特徴セールスポイントについて

紅葉苑は、栄養管理ができる味の良い食事を提供する施設、利便性のよい生活環境内にある施設、医療と介護の連携のとれた施設であることを大きな特徴としています。

特に食事に関しては、管理栄養士による献立や嗜好調査等を行うことで、充実した食事提供が行えており、入居者の方より高評を得ています。今後もこれらの特徴を前面に経営と運営の両面を充実させてまいります。

## 令和4年度事業報告

なかよしバンビーノ保育園

職員の福利厚生事業として7年目を終了しました。令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、合同保育の中止、近隣公園での外遊び、散歩や遠足等の自粛を余儀なくされました。園児と保護者、保育士にも感染者を出すことになりましたが、運営委託会社との連携により大きな感染拡大には至らず、何とか一年を終えることができました。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症対策の徹底に努めてまいります。

### ■今後の課題

- ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底
- ・助成金交付額減少における園運営（連携推進加算の活用）